

平成27年8月2日  
今週のベストショット



奈多グラウンド ソルトベ이스ターズ 対 ブルーマーリンズ

惜しくも初勝利とはならなかったが、親子で勝利を目指すブルーマーリンズ横山健介選手のHR。

写真：雁ノ巣ライナーズ 明瀬 旭

**青松園A 両チームの好打、好守が繰り広げられ引き分けに！！**

三苦ホーネッツ（6勝1敗1分）30302 8 矢野△-広木

奈多クラブ （3勝2敗3分）30320 8 馬場口△-安河内

**3BH**：広木（三苦ホ）、2HB：今田（三苦ホ）安部、今林（卓）（奈多ク）

三苦ホーネッツは初回、先頭の稲葉選手がセンター前ヒットで出塁すると、二番竹崎選手が確実な犠打で一死三塁のチャンスとし、三番矢野選手がレフトへのタイムリーであつという間に1点を先取。続く広木選手も続き、尚も一三塁のチャンスで、WPや六番今田選手のタイムリーを含め計3点を先取した。奈多クラブも一番今林（賢）選手が四球で出塁、二番今林（祐）選手がしぶとく内野安打を放ち無死一二塁のチャンスとすると、四番安倍（健）選手のレフトへのタイムリーで素早く1点を返す。奈多クラブはこの回、相手失策も絡め、2点を追加し振り出しに戻す。三回表、ホーネッツは失策と四球で無死一二塁とすると四番広木選手がレフトを大きく超える2点タイムリー三塁打を放ち、再度奈多クラブを突き放す。しかし、奈多クラブもこのまま突き放されない。三番上野選手がヒットで出塁すると、またもや四番安倍（健）選手のタイムリーツーベースで1点を返し、七番安河内選手のタイムリー等で2点を追加し再び同点へ。四回も奈多クラブは三番上野選手からの好打順。この日2本目となるヒットで出塁し、後続の馬場口選手が繋ぎ、六番今林（卓）選手がライトへのタイムリー二塁打を放ち、ついに逆転に成功。この回奈多クラブは1点を追加し2点差をとした。五回表、三苦ホーネッツの攻撃。こちらも二番竹崎選手からの好打順。本日の得点イニングのパターン。何か起こる気配？四番広木選手本日、3安打目となるヒットで出塁。続く五番松尾選手が三遊間へのヒットで続き、六番今田選手が右中間への2点タイムリー二塁打を放ち、再度同点へ。最終的には、8対8の同点で両者引き分けとなったが、所々でお互いの好守、好打が見られお互い一步も引かない好試合だった。（記事、写真 三苦フレンズ 肥喜里一征）



三苦ホーネツ先発 矢野投手。



奈多クラブ先発 馬場口投手。



何度も好守備を見せた奈多クラブ安倍(健)選手。



本日3安打2打点の活躍のホーネツ広木投手。



猛打賞の活躍、奈多クラブ上野選手。



打でも2安打2打点の活躍、安部(健)選手。



三回裏、ピンチでマウンドに集まる三苦ホーネツ内野陣。



強烈なセカンドゴロを捌き、エラーを帳消しにする永島選手。



四回表、ナインに激を飛ばす中村監督。



サードからの送球を必死に足を延ばす今林(祐)一塁手。



四回裏、逆転の適時二塁打を放つ今林(卓)選手。



激闘の試合終了。

### 雁レクE 両チーム譲らず引き分けに

奈多フェニックス (3勝1敗2分) 100300 4 今林(勇)△-西藤

奈多サンデーズ (4勝2敗2分) 001300 4 木下△-長濱

3BH: 今林(心)(奈多フ) 2BH: 田中(孝)(奈多サ)

まず先制したのは先攻の奈多フェニックス。三番、四番の連打で二死ながらチャンスを作ると五番今林英二選手の打球をショートがエラーしその間に1点を先制。追い付きたい奈多サンデーズは三回裏、こちらも二死から二番野田選手の打球をセカンドがエラーし出塁すると、続く三番田中(俊)選手がレフト前に際どいヒットを打ちその間に野田選手が生還し同点に。しかし直後の四回、今林心一選手の三塁打などで3点を奪い逆転。このまま試合終了かと思いきや、サンデーズも意地の反撃をみせ3点を奪い同点に追い付きそのまま試合終了。両投手ともに四死球が少なくとてもレベルの高い試合展開だった。(記事: 三苦三球会 右山健太郎、写真: 船橋文哉)



サンデーズ先発の木下投手。



フェニックス先発の今林勇太投手。



ホームへ激走するサンデーズ野田選手。



二塁打を放ったサンデーズ田中俊弘選手。



先発セカンドで出場の田中孝幹監督。2安打を放つ。

### 青松園B 本日の見どころは？

三友クラブ (3勝4敗) 0 1 0 0 1 足立●、久岡一柿崎

レッドサンデーズ (3勝5敗) 1 1 0 0 2 砂場、江口○ー前田

盗塁：川原2、嶋村、江口2 (レッド)

初回、レッドサンデーズ先発の砂場投手は三友クラブ先頭の柿崎選手をセカンドフライに抑えたが、制球が定まらず、二番、三番、四番を連続四死球で満塁としてしまう。レッド梅野監督は、たまらずエース江口投手を投入。江口投手は監督の期待に応え、サードフライ、三振で切って取り0点に抑えた。その裏レッド二番川原選手が絶妙なセーフティバントを決め出塁。すかさず盗塁を決めると、三番嶋村選手が四球で一死一二塁となり、四番八島選手の浅いレフトフライで川原選手は見事にタッチアップを決め三塁を陥れた。二死一三塁になった所でディレードスチールが成功しレッドサンデーズが先取点を挙げ、川原選手の足が光った回となった。二回表、三友クラブ山本選手がライトヘフライを打ち上げ、打ち取られたと思った瞬間、これを田浦右翼手がポロリとし二塁へ進む。更にワイルドピッチで三塁へ進むと、一番柿崎選手の綺麗なセンター前適時打で同点に追い付いた。二回裏、レッドは先頭土師選手が四球で出塁すると、続く七番前田選手が三塁手の頭を超える高いバウンドでレフト前へ転がし二塁となった。八番砂場選手が送り、二死二三塁となった所で昨年の首位打者・江口選手が打ったショートゴロを福井遊撃手がファンブルして追加点を献上。これが決勝点となり、レッドサンデーズが勝利を収めた。1-2と両チーム得失点は少ないが四回で試合終了となった。三友クラブは初回の一死満塁を得点にできなかったことが大きく響いた試合となった。逆に、レッドサンデーズは投手の交替を素早く判断した梅野監督のファインプレーによる勝利となった。(記事、写真：塩浜ジャガーズ橋村明浩)



試合開始の挨拶。



技巧派の三友クラブ足立投手。



先発はレッド将来のエース候補の砂場投手。



見事なリリース、レッドエースの江口投手。



一回裏、見事なセーフ ティバントのレッド二番川原選手。



山本選手の高く上がったライトフライだが・・・。



三友クラブ大坪選手のバントした球が・・・



キャッチャーの宿命（；；）あわれ、前田捕手。



三友クラブ柿崎選手の同点タイムリー。



三友クラブ将来のエース候補、久岡投手。



先程の影響でグラリ？しかし見事なヒットの前田選手。



決勝点を打ったレッド江口選手。

### 奈多グラウンド 接戦を制し、ソルトが今季初勝利！

ソルトベ이스ターズ（1勝7敗）200110 4 鶴野○ー春田

ブルーマーリンズ（0勝7敗）010100 2 林●ー横山（健）

HR：横山（健）（ブルー） 2BH：鶴野（ソルト）横山（祥）（ブルー） 盗塁：中村（健）、中村（祐）（ソルト）

ソルトベ이스ターズは初回、エラーや五番鶴野選手の右前適時打などで2点を先制する。二回裏ブルーマーリンズは一死から五番横山（祥）選手が右中間を破る二塁打を放つと、続く六番横山（健）選手の左前安打でチャンスを広げ内野ゴロの間に1点を返す。ブルーマーリンズは四回に1点を失い、2点ビハインドで迎えた四回裏一死から六番横山（健）選手の左中間HRで再び1点差とする。しかし、ブルーマーリンズの反撃もここまで。五回には1点を追加され、以後はソルト鶴野投手に0点に封じ込められた。これでソルトは今季初勝利。これに対し、ブルーマーリンズの今季初勝利は、またしてもお預けとなった。（記事、写真：雁ノ巣ライナーズ 明瀬 旭）



ブルーマーリンズ先発の林投手。



ソルトベ이스ターズ先発の鶴野投手。



二回裏、右中間二塁打を放ったBマーリンズ五番横山（祥）選手。



二回裏、親子でチャンスメイク！六番横山（健）選手。



セーフティバントを試みるソルト八柄選手。



四回裏、1点差となる本塁打を放つ横山（健）選手。

## 第14週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第14週、8月2日は4試合が行われました。

青松園Aの三苦ホーネッツ対奈多クラブ戦は、奈多クラブがエース不在の不安からか初回到3点を失うも、すぐに追いつくと一進一退の攻防が繰り広げられる。一・三と共に3点ずつを取り合い、奈多クラブは四回裏に初めてのリードを奪うも追いつかれ、終わってみれば8-8の引き分け。ホーネッツ矢野投手は9奪三振ながら、奈多クラブの打線を抑えられず、引き分けるのがやっとだった。

雁レクEの奈多フェニックス対奈多サンデーズ戦は、この試合も両者取っては取り返す攻防で4-4の引き分け。毎回の様に塁を賑わすサンデーズは9残塁と終盤に1点でも追加できなかったのが痛かった。

青松園Bの三友クラブ対レッドサンデーズ戦は、今年若い砂場投手を育てることを公言しているレッド梅野監督だったが、準備不足から初回1死しか取れず満塁にした砂場投手の不甲斐ない投球に、エース江口投手をスクランブル登板させる事態に。見事ピンチを救った江口投手だったが、二回表に三友クラブ一番柿崎選手のタイムリーで追いつかれる。しかし、その裏相手ミスで得点し勝ち越したレッドは1-2で勝利。1-2のスコア、両チーム計4安打にしては四回で終わったゲームは物足りなさを感じる一戦だった。

奈多グラウンドのソルトベイズ対ブルーマーリンズ戦は、未だ勝ち星の無い両チームの争い。初回到2点を先制したソルトが1点差に追いつかれるも、終始リードを保って4-2で今季初勝利。ソルト鶴野投手は打っても2打数2安打1打点1四球と活躍。今後乗っていけるか？ブルーマーリンズ横山健介選手は強肩と強打でチームを引っ張るが、なかなか勝利に結びつかない。そろそろ鬱憤晴らしの勝利が欲しいところ。

8月6日、広島に人類初の原子爆弾が投下された日に高校野球100周年の第97回夏の甲子園大会が開幕しました。

始球式は自身4回の甲子園出場を果たし、春に紫紺の優勝旗を掴んだ早稲田実業OBの王貞治ソフトバンク会長が見事に外角低めに決めて見せました。

ストライク投球を日本中が固唾（かたず）を飲んで祈ったでしょうね。

選手宣誓は第一回大会優勝の京都二中の流れを組む鳥羽高校（京都）梅谷成悟主将（3年）が行いました。

#### 【選手宣誓全文】

1915年8月、第1回全国中等学校野球大会が開催されました。それから100年間、高校野球は日本の歴史と共に歩んできました。この100年、日本は激動と困難をのりこえて、今日の平和を成し遂げました。このような節目の年に甲子園で野球ができることを誇りに思い、支えてくださったすべての方に感謝しPlayをします。

次の100年を担うものとして、8月6日の意味を深く胸に刻み、甲子園で躍動することを誓います。

平成27年8月6日、選手代表京都府立鳥羽高校野球部主将・梅谷成悟

宣誓を終えた梅谷主将は「最後まで責任を果たせてほっとしている。8月6日の意味、開幕と戦後70年という思いも込めて、はっきりと伝えられたと思う。100点です」と大役を見事に務め、ほっとした表情で振り返った。

スタンドでは母・眞由美さん（50）が、5月に病気で亡くなった父・重夫さん（享年51）の遺影を持って見守った。「今日こうやってすらすらと言えたのも、お父さんが見守ってくれていたからだと思う」と思いをはせた。

選手はそのPlayで感動を与え、応援をする控え選手やベンチに入れなかった選手、OB、観客はその選手にPray（祈り）で力を与えます。



平和の祈りを捧げるこの日に、戦争や病気、怪我、家庭の事情などで野球をやりたくても出来なかった球児たちの祈りを込めて100周年の大会が成功することを願います。

WSLの皆さんは、五体満足にボールを終える奇跡に感謝して、真摯にソフトボールに取り組んでほしいと思います。

I Pray for your best Play in WSL!